

九州



喜秋

山ちゃん 佳を学び!

# ザかんなし NO.6

山ちゃん 佳を学び!

柔道2段、けこうけんかなれりる山ちゃんが  
ありおつ ゴルデン「かんなしコンビ」=かんろう・海に組  
にけんかをした。ニこれはすごい。せむせむ  
この言語聞かせておれよ。→中学時代の後輩。

ぼくは花火をぶつて下のこれまた強いつグコンビ。  
田の暴れん坊山ちゃんが顔面ポコポコになつて空高くぶるる

巻きではないか。「しんぱい! まりましたばい! しんぱい! わんぱく  
かんろうさんも海にんも強か強か! あぎやん(あんな)がはし  
はみえよもなまひおハイ!」モクモク言いつながら自分のオズもいたかりながら  
かなり顔にむき山ちゃん下花火大会のバトルに2言語りはじめた。

こころなし目はうらんでいたような気がする。  
「花火が花火が花火がー!!」とうきうき花火大会の会場も走り回るといふ  
かんろう・海にんもみつけた山ちゃんも。「なんか! あいつら、おんちのあ  
体で教えるかうか」と二人組でかんろう・海にん組に近づいた  
どうな。近づいて山ちゃんもかんろうの肩に突然手をまわして。

かんろうのほっぺたに「パチッ、パチッ」と平手をうちながら。  
「おー! おまえをちや、やけた元氣んよおね、えー? おんまりのほおよと!  
川の中 でスイミングせにやいかんごうなるぞ。おー?」とかおれたどうな



ここのおまじり。なんなん  
かんろうのほっぺも。  
パチパチと...。  
ぼくはそんなことが出来る  
山ちゃんも、せむせむ  
「かんなし」の称号も  
与えたいと思った。

「山ちゃん! もちろんかんろうはおにたてほう! その場で、おしたん  
じやない?」といったら。「な-ん! しんぱい。いちがうです。  
とこでかんろうさんは芝居 するとですたい。自分が言周りにの  
「コリヤーコリヤー! おー? て言うてパチ、パチ」  
かんろうさんが言ったです。

「お、おすみましせん。おれがやめたです。おみましせん。おんち  
あやまります。あやまりおんち あつち。ちよつとA間、あつち  
行きますよ。」とですわ。豆ばバコバコ下ながら。  
「あつち。ちよつとよおんちあつち。おつち、木橋の下指さして。おんち  
バカだけ、な-んもきづかんで「バカタシカ-。え-? むびったわ」  
と言いはからいっばい。木橋の下ささいたですたい。  
ヒ-モ。パコパコ すおけんおかしらと思うたら。今考えど  
勝負のみえんとさかしくしたつたたいね-。みごヒ自分は  
あつちとはまたですよ。

木橋の下に来たりですわ-。急とかんろうさんが「あつち!  
おもしろかせん。落ちるといかに」って「ゴ石(河原に落ちる石)  
ばむつていきなりですもん。くわ-ん!!」って。  
おんちからいっばい。覚えとらんじですよ。

くわ-ん! くわ-ん! 音のよつをさすもん。気がいたら。  
イ電の相ボウが海にんさんから舞うごつ(踊るように)  
うたれおりました。そして相ボウの顔も、自動車のボンネット  
と共にポコポコになつておりました。どうやら相ボウの豆ば  
つかん車(自動車の)ボンネットにゴーンゴーンアウツつけおつたとい  
すねえ。そして俺はかんろうさんの空手道でまてえ  
ぬかれた拳がつかまの拳こぶしとたて石でかん、くわ-ん!  
てうたれおつたですたい。山ちゃんたいんたうたね。  
痛がる-。気がつけなたい。ボクはなごめめ言葉おんち。  
「しんぱい! 俺はもう二度と、二度とけんかしてんです。  
やつは世の中強かもんかある! 俺は夢みました。もう  
けんかはコリガリですたい。いっいたかもんたや-!!」つづく